

内閣府沖縄総合事務局 開発建設部

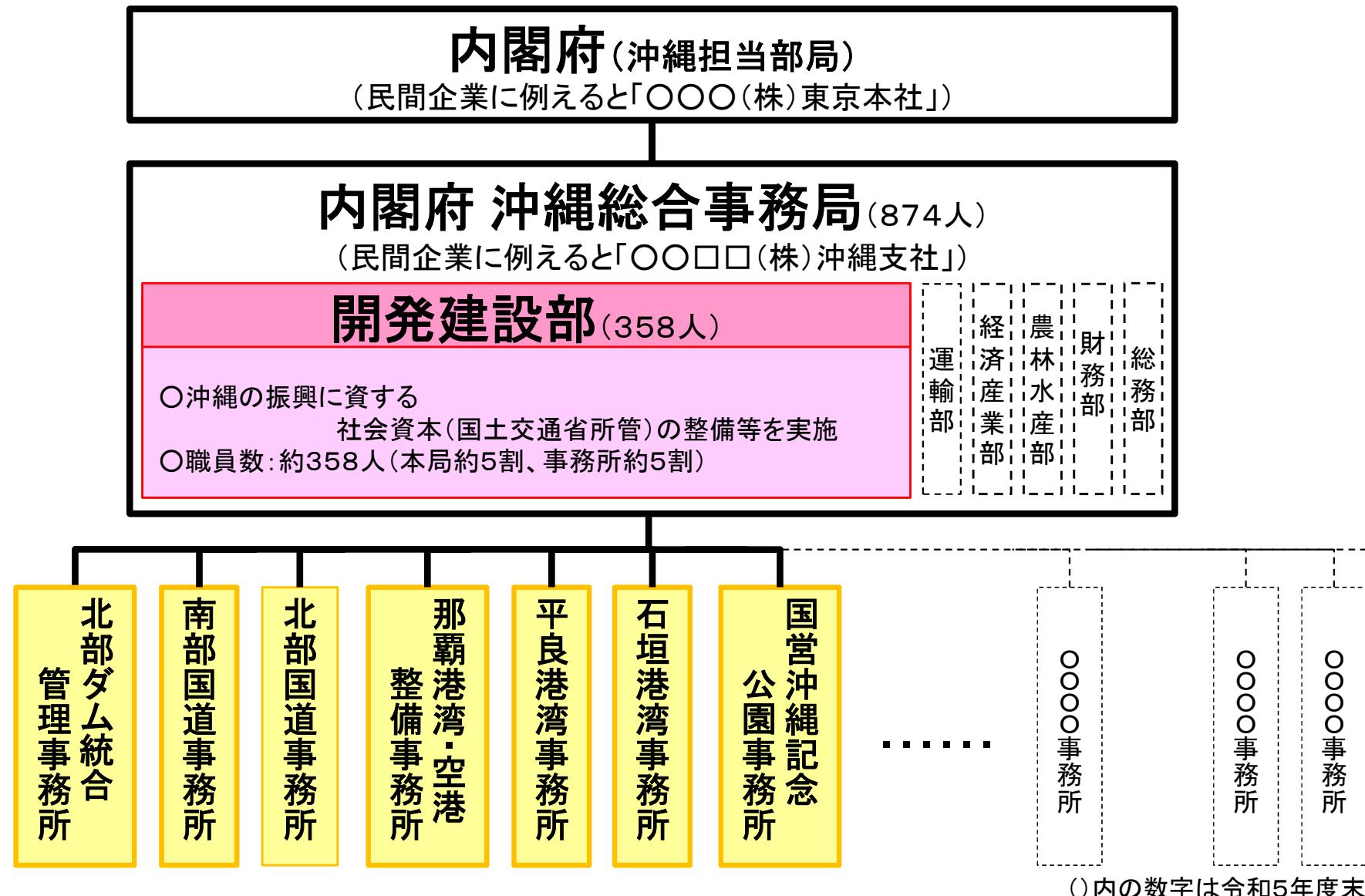
業務紹介

令和6年7月
開発建設部 採用担当

(メール)	ogb-dcd@ogb.cao.go.jp
(X旧Twitter)	https://twitter.com/okisokyokusaiyo
(開発建設部HP)	http://www.ogb.go.jp/kaiken

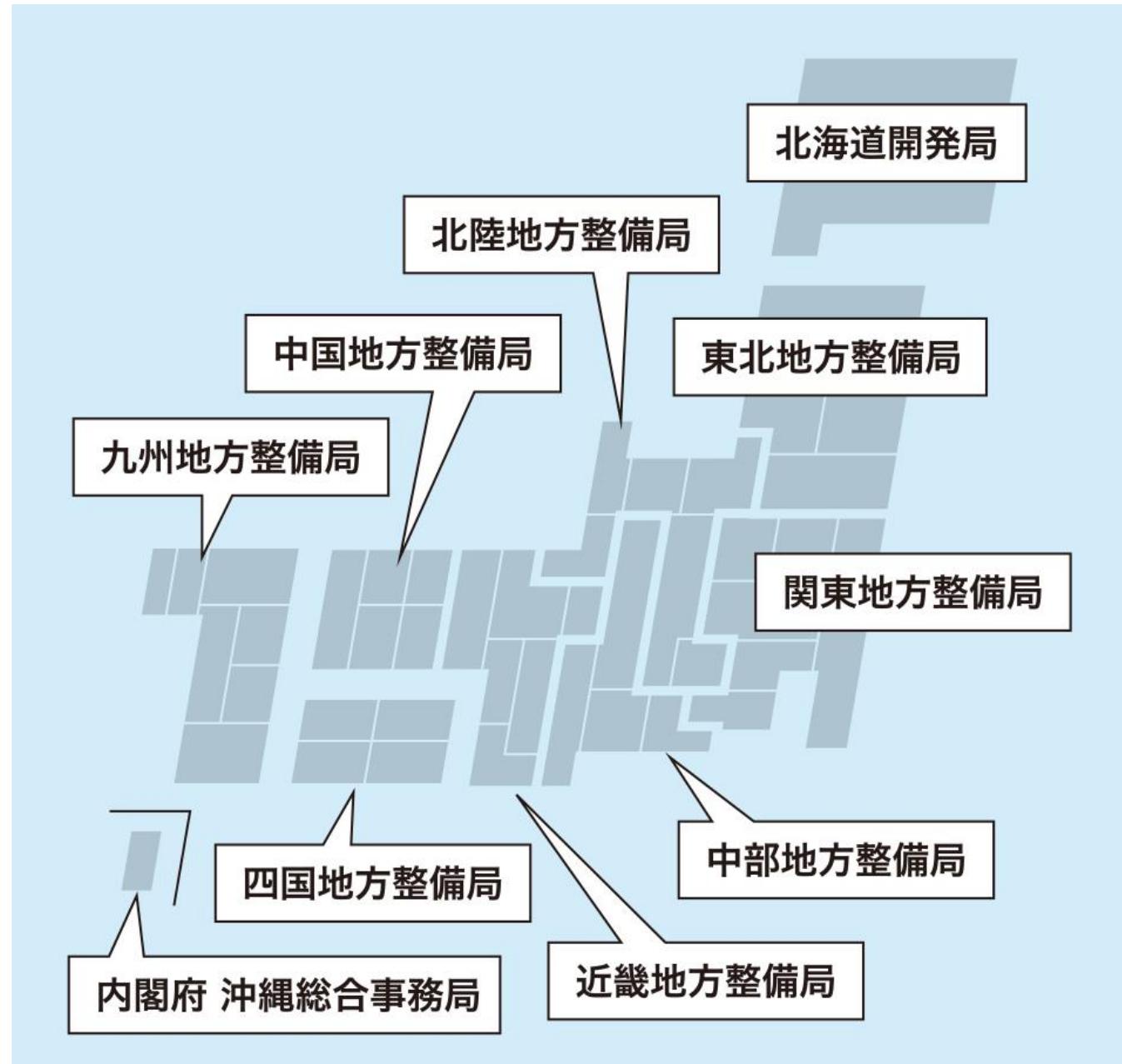
「沖縄総合事務局」って?

- 昭和47年5月15日の本土復帰と同時に、沖縄の振興開発を一元的・効率的に推進するため、沖縄開発庁(現在は内閣府)の地方支分部局として設けられた国の総合出先機関
- 総務部、財務部、農林水産部、経済産業部、運輸部、開発建設部の6部(他19事務所)



「開発建設部」とは？

- ・沖縄総合事務局の開発建設部は、国土交通省の地方支分局である地方整備局で担当している業務を行っている。



現在、動いている主なプロジェクト

道路ネットワークの整備

- 那覇空港自動車道、沖縄西海岸道路等の**幹線道路**をはじめとする道路ネットワークの整備等を推進
- 沖縄では陸上交通の大部分が道路に依存。そこで、**地域や拠点間の連携及び空港・港湾アクセスの強化**を推進し、生産性向上による成長力を強化、**那覇都市圏**をはじめとする交通渋滞の緩和を目的として整備を推進

那覇空港自動車道(小禄道路)

事業区間:那覇市鏡水～豊見城市名嘉地
延長:5.7km



完成イメージ図(豊見城・名嘉地IC付近)

一般国道58号 名護東道路

事業区間:名護市伊差川～名護市数久田
延長:6.8km



数久田IC(令和3年7月全暫定線開通)

物流ターミナルや旅客船(クルーズ)ターミナルの整備

- 島しょ県である沖縄県は、**物流の約99%を海上輸送が担っている**。そのため、那覇港や中城湾港、平良港において、**貨物の増加や船舶の大型化に対応するため物流ターミナルの整備を行っている。**
- また、**国際交流拠点として那覇港や石垣港において旅客船(クルーズ)ターミナルを整備し、沖縄県の観光産業に大きく貢献している。**



那覇港新港ふ頭地区



平良港漲水地区複合一貫輸送ターミナル



石垣港新港地区旅客船ターミナル

国営沖縄記念公園(首里城地区)の整備

- 首里城地区は、沖縄の復帰を記念する事業の一環として、整備が行われ、**沖縄の歴史・文化の中心、観光拠点として大きな役割を担っている。**
- 令和元年10月31日の火災により正殿等主要な建物が焼失
- 正殿を令和4年度に本体工事着手、令和8年の復元を目指し事業を推進



首里城正殿



火災後の首里城



復元整備中の正殿

開発建設部では以下のような仕事に携わります。

道路関係

国が自ら整備、管理する国道(＝直轄国道)のバイパス整備、交通安全、無電柱化、維持・管理、修繕等を実施しています。



電線共同溝の整備事例



橋梁点検車による橋梁点検

港湾・空港関係

国内外から訪れる利用者にとっての沖縄への玄関口である、港湾及び空港の整備を実施しています。



那覇空港滑走路増設事業



那覇港に寄港したクルーズ船

治水関係

国が直轄で管理するダム(9箇所)の維持管理、老朽化した設備の補修等を計画的に実施しています。



福地ダム

公共建築(官庁営繕)関係

国の機関が使用している事務庁舎、研究施設、教育文化施設の整備や維持管理段階における技術的指導を行っています。



国立劇場おきなわ



那覇第2地方合同庁舎3号館
イメージパース

開発建設部では以下のような仕事に携わります。

公園関係

沖縄観光の中心となっている国営沖縄記念公園(海洋博覧会地区、首里城地区)の整備や維持管理を行っています。



沖縄美ら海水族館
(海洋博覧会地区)



首里城正殿(火災前)
(首里城地区)

電気通信・建設機械関係

インフラの効率的な管理、迅速な災害対応等を行うため、電気通信施設や建設機械の整備・運用・維持管理を行っています。



情報通信ネットワーク



点検作業車による
トンネル換気設備の点検

許可・補助・用地取得関係

- ・建設業等の「許可」に関する事務を行っています。
- ・県、市町村が実施する事業の支援(=補助)を行っています。
- ・公共事業実施のための用地を取得する業務を行っています。

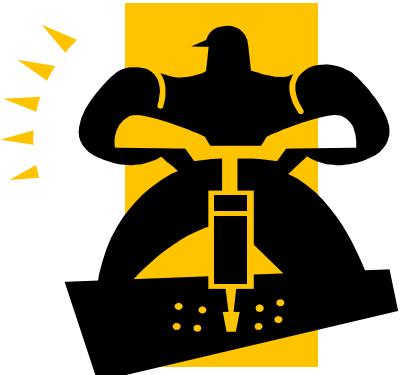


旭橋第一種市街地再開発事業(補助)



入札契約・会計経理・物品調達・総務

- ・電子入札を導入しています。
- ・公共事業費の会計、経理を行っています。
- ・職員の勤務に必要な物品調達を行っています。



開発建設部ではこんな業務も行っています。

防災・TEC-FORCE

台風や地震・津波などの自然災害等の発生に備えて、災害対応の機能強化と関係機関との連携に努めています。災害発生時には、災害対策本部を設置し、管理する施設の被害状況の把握や関係機関からの被害情報の収集、応急復旧等の対応を行っています。

<緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)>

TEC-FORCEでは、大規模な自然災害等に際して、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を行っています。

調査

河川や道路、砂防などの被害状況を調査します。

なお、現地に立ち入ることが難しい場合は防災ヘリコプターを活用し、上空から調査します。



土砂災害危険箇所調査



防災ヘリコプター

復旧

排水ポンプ車や応急組立橋などの災害対策機械を使い、応急復旧活動を行います。



応急組立橋の設置状況



排水ポンプ車による応急復旧

沖縄総合事務局災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣実績

- 平成28年熊本地震 : 【派遣先】熊本県、【派遣期間】19日間、【派遣人数】延べ138人
- 平成30年7月豪雨 : 【派遣先】愛媛県、【派遣期間】9日間、【派遣人数】延べ 48人
- 令和元年台風第19号 : 【派遣先】福島県、【派遣期間】10日間、【派遣人数】延べ100人
- 令和2年7月豪雨 : 【派遣先】熊本県、【派遣期間】20日間、【派遣人数】延べ120人
- 令和6年1月能登半島地震 : 【派遣先】新潟県、【派遣期間】60日間、【派遣人数】延べ 39人

開発建設部ではこんな業務も行っています。

i-Constructionの促進・インフラ分野のDX

【i-constructionの促進】

i-Construction



社会への実装

- 沖縄総合事務局におけるi-constructionへの取組に関する代表例としてICT活用(ICT土工など)工事を実施していきます。
- その他の取組も含め、引き続きi-constructionを促進していきます。

・ICT技術の全面的な活用

・規格の標準化

・施工時期の平準化

開発建設部ではこんな業務も行っています。

i-Constructionの促進・インフラ分野のDX

【インフラ分野のDX】

○社会経済状況の激しい変化に対応し、インフラ分野においてもデータとデジタル技術を利用して、国民のニーズを基に社会資本や公共サービスを変革すると共に、業務そのものや、組織、プロセス、建設業や国土交通省の文化・風土の働き方を変革し、インフラへの国民理解を促進すると共に、安全・安心で豊かな生活を実現

行動のDX

△非接触・リモートによる現場確認



知識・経験のDX

△ICT 建機の活用

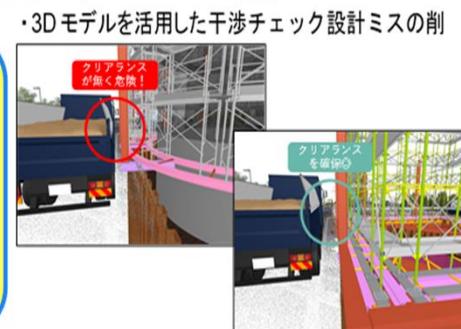


モノのDX

△VRによる研修等への活用



△BIM/CIMデータの活用



職員が様々な場面で活躍しています。

以下のような業務に携わっています。

調査・計画

どこにどんな施設が必要か、それを検討するため、調査を行い、事業計画の作成、予算要求などを行います。



設計・工事

施設の整備に向けて、工事の発注に向けた設計や工事の現場監督などを行います。



維持管理

完成した施設について、保守、管理、点検等を行うとともに、長く安全に使っていくための改修等を行います。



用地取得

事業用地を取得します。

入札・契約、県・市町村への支援など

- ・業務や工事を、コンサルタントや建設企業に発注するにあたってのルールづくり、実際の発注手続きを行います。
- ・県、市町村が行う事業を支援(=補助)するため、事業計画の確認等、補助金の交付に関する事務を行います。

勤務するのは…

○基本的に沖縄県内にある、本局、開発建設部系事務所に勤務します。事務所には出張所、管理支所もあります。

【本局】 沖縄総合事務局開発建設部(那覇市)

【事務所】 北部ダム統合管理事務所(名護市)

北部国道事務所(名護市)

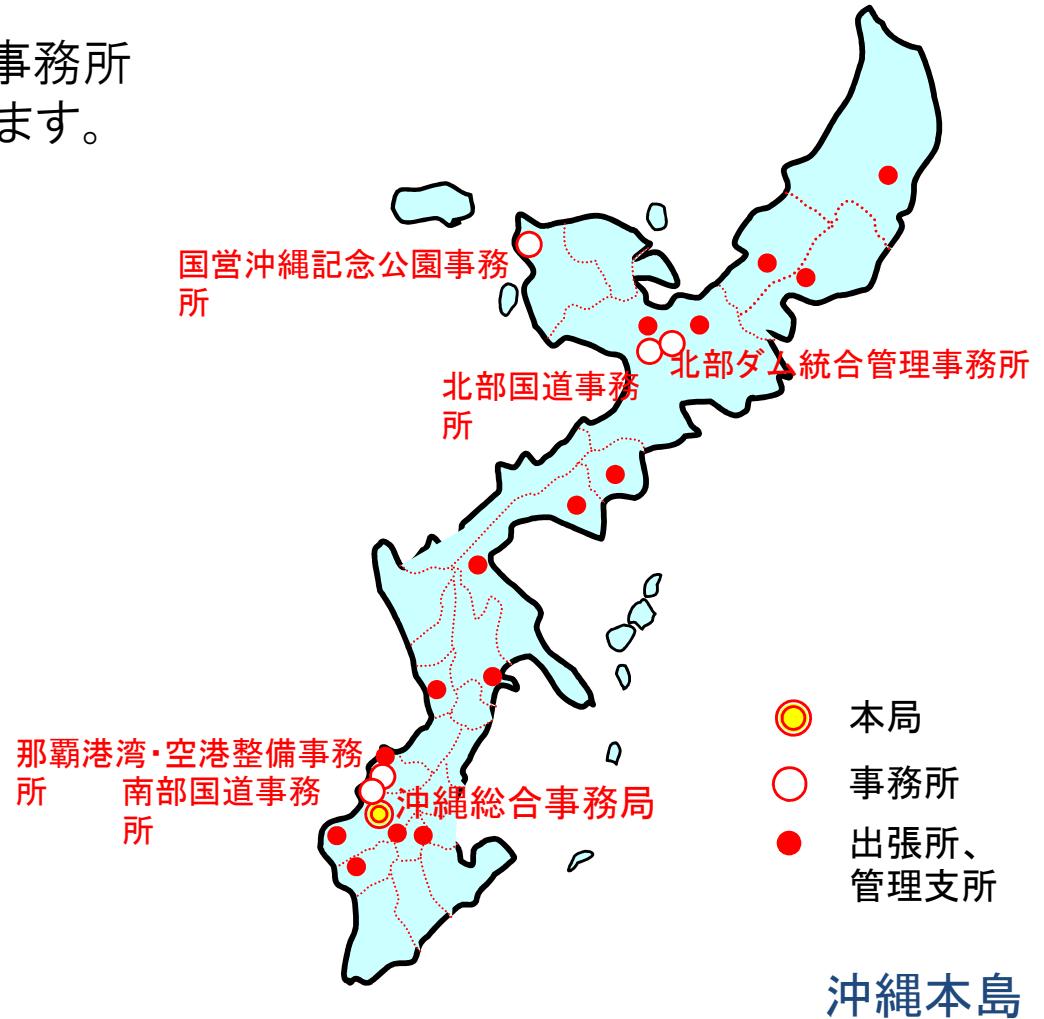
南部国道事務所(那覇市)

那覇港湾・空港整備事務所(那覇市)

平良港湾事務所(宮古島市)

石垣港湾事務所(石垣市)

国営沖縄記念公園事務所(本部町)



○業務上の関係が深い関係省庁等に出向している方もいます。

【出向先】 内閣府 沖縄振興局(東京)

国土交通省 本省(東京)

各地方整備局

県内自治体

石垣島



宮古島



近年の採用実績

	一般職(大卒・高卒)								計
	行政	土木	建築	農業農村工学	デジタル・電気・電子	機械	その他 (物理・化学等)		
R2年度	2	4	2	0	2	1	0	11(2)	
R3年度	3	1	2	0	1	2	3	12(6)	
R4年度	2	2	2	0	4	0	0	10(6)	
R5年度	4	7	1	0	2	2	1	17(2)	
R6年度	5	4	1	1	0	0	0	11(1)	

*試験区分「行政」については、開発建設部に配属された人数。年度途中の採用者は、採用年度でカウント。

()は選考採用。

開発建設部 採用担当 連絡先

(メール) ogb-dcd@ogb.cao.go.jp

(X旧Twitter) <https://twitter.com/okisokyokusaiyo>

(開発建設部HP) <http://www.ogb.go.jp/kaiken>

(電話) 098-866-0031(代表) 内2352

X日Twitterで、若手職員の仕事を紹介しています！

※令和5年度投稿を抜粋

【一般技術職系 開発建設部】入局2年目、道路管理課の伊佐です。昨年度は、道路に関する事故対策や安全管理、無電柱化に係る業務を行いました。昨年の年末に、九州・沖縄「道の駅」連絡会議にも参加しました。基本的には事務作業ですが、実際に現場を視察する機会もあり貴重な経験になりました。



【一般技術系 開発建設部】入局2年目、防災課の當間です。防災課では、日頃から災害に備えて定期的に防災訓練を実施しています。私も実際に、沖縄総合事務局の防災ヘリに搭乗しての映像伝送訓練や、災害対策用機械の操作訓練をしました。防災で沖縄のために役立ちたいと思う方は是非！



【一般職技術系 開発建設部】石垣港湾事務所 整備保全課の仲嶺です。発注担当・現場担当として、防波堤などの港湾施設の整備に携わっています。自身が関わった構造物が、日々完成形に近づいていく様子を見ることができるのは素直に嬉しく、事務所の仕事の醍醐味だと感じています。



【一般職技術系 開発建設部】建設行政課事業調整係の平敷です。私は主に不発弾に関する業務に関わっています。沖縄不発弾等対策協議会や磁気探査研修の開催、ライナープレートや磁気探査機器の貸出を行っています。沖縄県の皆様が安心して日々を過ごしていただくための大切な仕事だと感じています。



X日Twitterで、若手職員の仕事を紹介しています！

※令和5年度投稿を抜粋

【一般職技術系 開発建設部】空港整備課の田場です。私は、令和2年供用開始の那覇空港の2本目の滑走路増設による環境影響を調査しています。海域生態系等の多項目を調査し環境への影響を評価しています。専門知識が必要な場面もありますが、周りの方々に支えてもらいながら日々業務に励んでいます。



【一般職技術系 開発建設部】

入局2年目、河川課の備瀬です。河川課は利水・治水に係る業務を行っています。勉強のため、河川の工事現場や、海岸保全のため網を設置しサンゴ礁の堆積を図る実験現場の見学を行いました。初めての経験も多く、大変ですが、物が形になっていくのでやりがいを感じます。



【一般職技術系 開発建設部】北部ダム統合管理事務所の平良です。北部ダム群の水管理に関する環境調査全般を担当しています。中でもリュウキュウアユの陸封化は成功しており、大保ダムの状況調査へも同行し、生息状況や食み跡を確認できました。生息環境を保全することは大変ですが、環境の大切さを実感し仕事に取り組んでいます。



生態系保全調査

【一般職技術系 開発建設部】

営繕監督保全室の長田です。主に保全業務を担当しており、施設保全担当職員へ中長期保全計画の作成方法や法定点検の実施義務等の施設保全に関する助言や指導を行っています。保全に係る問い合わせに的確に答えられるよう法令や官庁営繕の基準類等で日々勉強に励みながら業務に取り組んでいます。



X日Twitterで、若手職員の仕事を紹介しています！

※令和5年度投稿を抜粋

入局3年目、建設産業・地方整備課の津堅です。公園事業を担当しています。中でも焼失した首里城の復元については、令和8年の正殿完成に向けて業務に励んでいます。首里城は日々形になっており、今しか見られない現場に携わることができてやりがいを感じます。

#首里城 #首里城復元 #見せる復興



【一般職技術系 開発建設部】入局2年目 平良港湾事務所整備保全課の宮城です。平良港における港湾工事の発注、施工監督等を担当しています。現場確認等で工事現場に行く機会もあり、港湾土木構造物の規模の大きさや完成までの過程を生で見て感じができる、大変やりがいのある職場です。



【一般職技術系開発建設部】

入局1年目、港湾建設課の比嘉です。私は、港湾整備事業における予算の執行状況を管理しています。また、工事現場等に掲示する工事安全ポスターを制作するなど、現場の安全向上につながるような取り組みを行っています。いろいろ学びながら楽しく仕事をしています。#港湾



【一般職技術系 開発建設部】入局1年目、国営沖縄記念公園事務所の石川です。私は主に海洋博公園の施設点検等の維持管理や自動運転車両（SC-1）の実証実験など来園者の安全と公園の魅力向上に向けた取り組みを担当しています。周りの方々や自席からの景色が支えとなり楽しく業務に励んでいます。



X日Twitterで、若手職員の仕事を紹介しています！

※令和5年度投稿を抜粋

【一般職技術系 開発建設部】入局1年目、技術管理課の安仁屋です。学生向けの技術者との交流イベントを通して学生に建設業の事をもらう知り取り組みや、職員向けのCAD操作講習を開催し、3次元モデルの利活用に向けた取り組みを行いました。周りの方々に支えてもらいながら楽しく仕事をしています。



【一般職技術系 開発建設部】入局1年目 道路建設課調査係の宮平です。調査係では沖縄県内における渋滞対策や交通量調査、道路整備計画等、様々な業務を担当しております。先日は福岡、広島にて、自動運転・交通結節点事業の現地視察に行ってまいりました。多様な知識を働きながら得ることができ、楽しく業務に励んでおります。



【一般職技術系 開発建設部】

入局1年目、開発建設部 営繕課の宮良です。営繕では主に国の建物の整備を行っています。担当案件の資料作成や確認、首里城正殿の復元やその他の現場では、上司や現場の方々にお話を聞き日々勉強しております。



【一般職技術系 開発建設部】入局1年目 北部国道事務所調査課の蔵元です。調査課では北部地域における直轄国道の渋滞対策や道路整備計画、小動物のロードキル対策等、様々な業務を行っております。業務内容は多岐にわたりますが、周りの方々にご指導いただきながら日々業務に取り組んでおります。



若手職員からのメッセージ

○ダム管理の概要

令和5年度入局

玉城 美七海

開発建設部 河川課

ダム管理でライフラインを守る

令和5年4月に入局しました玉城です。河川課では、沖縄本島北部ある9つのダムを北部ダム統合管理事務所や各支所の方と情報を共有しながら管理を行ったり、排他的経済水域(EEZ)の基線となる低潮線の状況確認調査を行っています。

私が配属された計画係では、毎年夏に開催されるダムまつりに携わり、チラシ・ポスターの作成、新聞掲載など広報活動に努めました。また、広報活動の一環として沖縄本島中南部の4か所でダムに関するパネル展を行い、ダム所在地ではない中南部の方にも、ダムの役割や水の大切さを伝えられるように取り組みました。

事務作業もありますが、低潮線調査では、訪れることが不可能な無人島(硫黄島など)に防災ヘリで行き、調査を行ったりするところもなかなか経験できないところで魅力です。最近は、渴水の影響でダムの貯水量が減少しており、状況確認のため防災ヘリで調査を行いました。満水時であれば見えない地表がむき出しになっており、改めて水の大切さを知ることができました。

初めは分からぬことも多く不安でしたが、上司へ質問したり、業務内容も多岐にわたり勉強になるので入局して良かったと感じています。

知識や技術を高めながら沖縄に貢献できることが魅力の一つだと思うので、ぜひ、私たちと一緒に仕事をしてみませんか！

そして、節水へのご協力もよろしくお願いします！



普久川ダム定期検査の様子



ダム貯水量状況・海岸調査



福地ダム貯水量状況

○防災業務の概要

令和4年度入局

當間 研介

開発建設部 防災課

防災活動で沖縄を守る

令和4年4月に入局しました當間と申します。私が所属している防災課では、台風や地震・津波他様々な災害の発生に備えて、災害対応能力の向上や関係機関との連携強化に努めています。

私の仕事内容としては、主に災害発生時に迅速で円滑な復旧対応を行えるよう、災害対策用機械の準備やそれらを用いた防災訓練を実施しています。防災訓練では、災害対応の実務を行う関係機関の方々も参加することがあり、普段見ることの出来ない様々な特殊車両や機械を直接見ることが出来ます。私自身も初めて防災ヘリコプターに搭乗して離陸した際はとても感動しました。(今ではすっかり乗り慣れてしましました(笑))

また、防災ヘリコプターには上空から撮影した映像をリアルタイムで災害対策本部へ伝送する装置が備わっておりますが、現在、スマートフォン等の小型機器を用いた次世代のリアルタイム映像の配信に向けた調整等、新たな取り組みなども積極的に行っております。

仕事も初めは分からぬ事が多く不安でしたが、上司へ気軽に質問や相談がしやすく、休みも取りやすいので、とても働きやすく雰囲気のいい職場だと感じています。

また、防災課の一番の魅力は、防災や災害対応に関する知識や技術を高めそれを活かすことで、沖縄に貢献できることだと思います。ぜひ私たちのように「沖縄を守る」やりがいのある仕事をやってみませんか！！



防災ヘリ



防災ヘリの中での映像伝送の様子

○道路事業の概要

令和4年度入局

伊佐 瑞真

開発建設部 道路管理課

道路施設の維持管理

令和4年4月に入局しました伊佐です。私が所属している道路管理課では、国道の維持・管理、修繕、交通安全、無電柱化等を実施しています。

構造物保全係では主に橋梁、トンネル、大型カルバート、門型標識等の道路施設の維持管理や地方公共団体支援のための会議や研修、講習会を行っています。道路施設の高齢化が進む昨今、道路施設を長く安全に利用できるよう定期的に点検を行い、修繕計画を立てて長寿命化を進めております。

維持管理は点検や修繕のみならず、施設の完成年度や今までの補修補強内容の情報を集積することも含まれます。一昨年からサービスが開始された「全国道路施設点検データベース～損傷マップ～」への更新も大事な業務の一つです。この損傷マップは誰でも全国の橋梁、トンネル、シェッド、大型カルバート、舗装、土工構造物などの情報の閲覧が可能ですので、ぜひ利用してみてください。

私は道路や道路施設のことについて全く知識のないまま配属されましたが、やさしい先輩や上司に教えてもらいながら日々業務に励んでいます。沖縄総合事務局は外部の講習会への参加、工事現場見学などが推奨されており、成長する機会に恵まれている良い環境だと感じます。皆さんも一緒に、知識・技術を学びながら働いてみませんか。



小禄道路の現場見学会

○道路事業の概要

令和5年度入局

宮平 知輝

開発建設部 道路建設課

道を創る、沖縄を創る

令和5年度機械区分採用の宮平です。道路建設課では、道路事業に関わる調査・評価・計画・予算・自治体の補助等の業務を4つの係で分担して仕事をしています。

私が配属された調査係では、沖縄県内における渋滞対策や交通量調査、道路整備計画等、様々な業務を担当しています。特に渋滞に関しては、沖縄県内に存在する主要渋滞箇所交差点について、渋滞緩和・解消を図るために、関係者が協力し、渋滞等にかかる総合的な改善の推進を図る「沖縄地方渋滞対策推進協議会」の事務局として、沖縄の渋滞対策に携わっています。

また、道路建設課では、県内外への出張も多く、私も1年間に、東京へ予算要求ヒアリング、福岡・広島へ自動運転・交通結節点事業の現地視察に行ってきました。機械区分採用で、道路事業に関する知識が全くなかった私でも、多様な知識を働きながら得ることができ、楽しく業務に励んでいます。

開発建設部は、『沖縄の振興には欠かせない、何十年後も形として残るインフラ整備』という大変やりがいのある仕事です。ぜひ、皆様も一緒に働いてみませんか！



交通結節点現地視察の様子(広島駅)

○港湾・空港の概要

令和5年度入局

比嘉 元基

開発建設部 港湾建設課

港の整備から沖縄を豊かに

令和5年4月に入局しました比嘉です。私が所属している港湾建設課では、港湾整備事業の実施状況を確認しています。その中で私は、港湾関係の予算執行状況について確認と管理を行っています。沖総局では4つの港を整備しており、それぞれの港のどの工事で、どのように予算が使われているのかを業務の中で知ることができます。

普段は事務作業が多いのですが、工事安全パトロールに参加したり、港湾業務艇(沖総局が所有している船)に乗船して海から現場を一望できたりしているので、現場に赴く機会もたびたびあります。例えば那覇港の臨港道路整備事業や、中城湾港の土砂処分場埋め立て工事の現場を見たときは、その広大さと技術力の高さに驚かされました。現在、各港ではさまざまな事業が行われており、これからもますます沖縄の港湾は発展していきそうです。

私は入局まで港湾に触れる機会がなく、仕事についていけるか不安でしたが、職場内の雰囲気は良く、上司や先輩などに質問したら丁寧に教えてくれるので、日々支えながら仕事に取り組んできました。今では沖縄の発展を担う一員としての自覚を日々感じています。皆さんもぜひ沖縄総合事務局に入局して、港湾から沖縄を豊かにしていきましょう。



臨港道路若狭港町線(那覇港)



泡瀬土砂処分場埋め立て現場(中城湾港)

○港湾・空港の概要

令和5年度入局

山城 京大

那覇港湾・空港整備事務所 空港工務課

那覇空港の整備で沖縄を支える

私は那覇空港の整備に関する事業計画、予算管理と設計業務を行う空港工務課に所属しています。

私は在学時に熱力学を専攻しており、土木や空港の分野の専門用語には疎いこともあり、配属後の1~2か月は言葉の意味を調べるところから始まる事も多くありました。また、空港事業についてあまり知らない事もあり、慣れない環境に優しい先輩方へ迷惑をかけないようにと緊張していましたが、職場内のサポートも手厚く、相談相手がいたり、上司に仕事内容を分かりやすく教えてもらえた事もあり、雰囲気も楽しく、今ではのびのび業務にあたる事ができ、働きやすい環境だと感じています。

工務の仕事はデスクワークだけではなく、事業進捗の確認や空港管理者との調整などで空港制限区域内に入る事も多くあり、間近に航空機や空港スタッフの働く姿が見られたり、工事検査の補助で滑走路を歩いたり、那覇空港の裏側を見る貴重な経験を得ることができます。また、那覇空港国際線ターミナル地域再編事業の高架道路延伸工事等の変遷を見る事で、書面だけではわからない空港整備事業を肌で感じることができます。

私の担当する業務が完了したとき、空港の整備事業が一步前進したものと感じ、自身に任された仕事一つひとつが空港を整備していく中では欠かせないやりがいのある仕事だと感じます。

皆さんと一緒に働く日を楽しみにしています。

金城先輩



山城



那覇空港全景



舗装版取り付け状況

夜間工事の様子

○公園事業の概要

令和5年度入局

石川 隆一

国営沖縄記念公園事務所 工務課

魅力ある公園づくり

令和5年度入局の石川です。私が所属する国営沖縄記念公園事務所では、国営公園の海洋博公園と首里城公園の整備、管理を行っています。

私は海洋博公園の維持管理に関する業務を担当し、公園管理委託先の沖縄美ら島財団との連絡調整、昇降設備の保守点検業務や燃料タンクやボイラーなどの園内設備の法定点検の発注等を行っています。また、公園でのDX推進にも取り組んでおり、沖縄美ら海水族館以外の施設(おきなわ郷土村、海洋文化館、熱帯ドリームセンター等)への誘客や広大な園内のアクセス性向上促進の目的の下、自動運転で走行し映像コンテンツを楽しめる「SC-1」や個人モビリティ「C+walk」の実証実験を行っています。日々業務をとおして、来園者の安全確保や魅力ある公園づくりに携わり、大きなやりがいを感じています。

入局当初は知識もなく、不安もありましたが、職場は質問・相談しやすい環境で、先輩方の丁寧な指導やサポート等の支えもあり、楽しく業務を行っています。また、事務所から一望できる青い海と伊江島の景色を眺めたり、現場対応の際には、園内の豊かな緑に触れることで気分転換ができる、非常に働きやすい職場環境です。

開発建設部での仕事の魅力は、沖縄の道路・ダム・港湾・空港など生活に必要不可欠なインフラ整備に携わり、沖縄の発展に貢献できることだと感じています。是非、皆さんも開発建設部に入局し、沖縄のインフラを支えていきませんか！



個人モビリティ「C+walk」
実証実験



熱帯ドリームセンター
(チューリップフェア)

○営繕業務の概要

令和5年度入局

宮良 琉玖

開発建設部 営繕課

知識を設計に反映していく

令和5年度4月入局、建築区分採用の宮良です。私が所属する営繕課では、沖縄管内にある様々な国家機関の建物の整備を行っており、現在は那覇第2地方合同庁舎3号館の新築や首里城正殿の復元整備等を行っています。

私は、主に新築・改修の設計を担当しています。通常、設計は設計事務所に外注していますが、私自身は業務受注者との打ち合わせや、受注者より提出された図面のチェックなどを行っています。設計に当たっては、その建物に求められている性能を理解し、法律に加えて営繕独自の基準類にも適合させる必要があります。基準類は多岐に亘り、覚えるだけでも大変ですが、分からぬ部分があっても上司や先輩が優しく詳しく教えてくれます。アドバイスを貰うことで自分だけでは知り得なかつた新しい視点で物事を捉えることができ、日々成長を実感しています。

国土交通省の全国の地方整備局にも営繕部局があり、基本的に同じ基準を使っていますが、沖縄の事情や離島ならではの気候を踏まえて設計を行う必要があります。例えば、不発弾への対策や、台風による被害を防ぐための基準の割り増し、強い日射による熱負荷を低減するための工夫などが求められ、沖縄で業務を行うことでしか得られない知見があるのでとても有意義な経験になると思います。

営繕課は主に意匠と構造、電気、機械と4つの部門に分かれており、一丸となって建物の設計を進めています。建築職だけでなく、電気職や機械職の活躍の場もありますので、国の建物の設計に興味のある方は、是非、営繕の世界へお越しください。皆さんと一緒に働くことを心よりお待ちしております。

